

令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果(中学校)

鯖江市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	鯖江	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	授業で学んだ基本的な知識や技能をもとに、ペアやグループで話し合ったり、教え合ったりする活動(鯖中チャレンジタイム)を設定した。	運動が苦手な生徒も授業の中で誰かの役に立てたり、仲間から教えてもらったりすることで技能が向上した。また、やりがいや楽しみ、充実感を味わうとともに、学習の中で自分なりに運動をする意義を見出し、生涯にわたって運動に親しみきっかけになった。
2	中央	中学校	本校の体力向上の取組みについて	授業の初めに外では1000m走、体育館では3~5分間走を継続的に実施	体力テストの持久走の結果では、1年生から3年生の男女全6項目のうち、5項目で県の平均を上回ることができた。
3	東陽	中学校	その他	屋外への出入りを体育館から行い、屋内で実施可能なこと(準備運動や学習カードの記入など)は屋内で行うようにして、熱中症対策に努める。	熱中症になった生徒は「0」だった。また、生徒自身も熱中症予防に努めながら、より活動しやすい環境で体力向上に努めることで、体力テストにおいて県平均を上回る種目が多くあった。